

リスボン(ポルトガル) 紀行

中野幸紀(JA3VWT)

7月26日(土)のJI3ZAGロールコールで荒川さん(JA3AER)がポルトガルは行ったことがありませんとおっしゃっておられたので写真を中心に少し紹介させていただく。

今回のリスボン行きは国際産業連関学会(IIOA)第22回大会への参加が目的。2014年7月13日(日)午前7時過ぎ(JST)に伊丹空港を出て、羽田とパリ経由で現地時間同日の午後11時過ぎ(UST)にリスボン空港に着いた。ポルトガルは英国と同じグリニッジ標準時(UST)である(写真の年月日表示はJSTとなっているので注意)。

(1)街の風景

リスボンは丘の多い港町で、小さな路面電車が走っている。最初の写真は国際学会大会の開催されたISEG前道路を走っていた路面電車。この先にポルトガル国会議事堂があった。



リスボン市内を走る路面電車(めっちゃ旧式の電車、動いてる博物館みたいでした。)



ポルトガル国会議事堂



リスボン大学経済 経営大学校(ISEG)の城のような校舎と近くの街路



サン・ペドロ・アルカンタラ展望台から眺めたリスボン旧市街 正面がサン・ジョルジェ城 (日本時間表示、現地はまだ15日夕方)

(2)ポルトガル・アマチュア無線連盟 (REP)
 このサン・ペドロ・アルカンタラ展望台に行くためJOAO教授がクルマを駐車したペドロ5世通り向こう側にHFのアンテナらしきものが見えたので大使館かアマ無線局ではと思って近づくと、この標識が建物正面に掲げられていた。なんとポルトガル・アマチュア無線連盟 (REP)本部だった。1926年設立、IARU、AMSAT及びARISSE会員と記載。

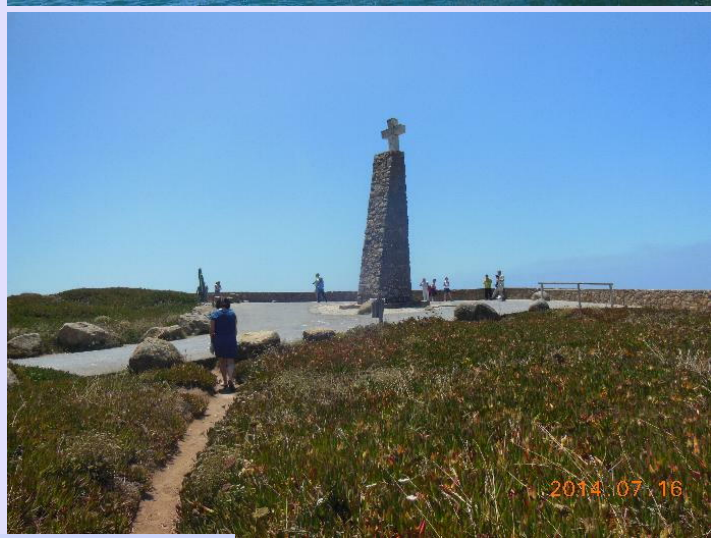


ポルトガル・アマチュア無線連盟 (REP)アンテナ群と建物全景

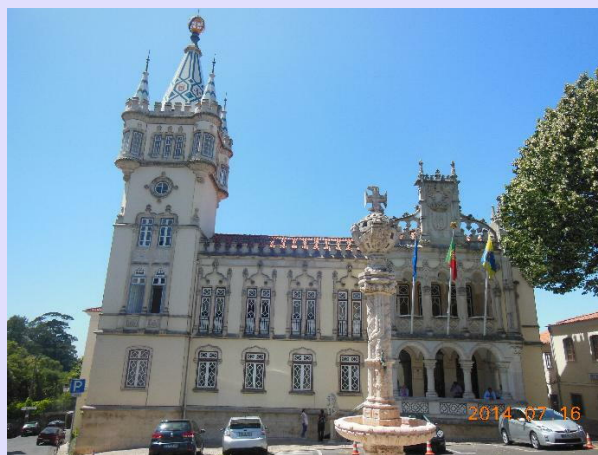
(3)ロカ岬とシントラ王宮訪問
7月16日(水) 午後は学会大会エクスカージョンの日。
JOAO教授たちとカスカイス(CASCAIS)市街の先にある海水浴海岸とヨーロッパ最西端のロカ岬 (abo da Roca)を経てシントラ(SINTRA)王宮を訪問した。
ロカ岬の観光協会事務所でヨーロッパ最先端の地訪問証明書を購入することができる。



カスカイス(Cascais)近くの海岸



欧州大陸の西端 ロカ岬 (abo da Roca)



シントラ市役所と王宮 (王が避暑のために滞留した。)

シントラ王宮内の台所とその煙突
(城の外観写真で見えている白い2本の塔が実は台所の上にある通気塔(煙突)だったとい結末で、驚きました。)





シントラの王宮前
旧市街
(この奥に名産の
お菓子屋さんがある。)



観光用の街中列車バス

学会参加目的のポルトガル訪問だったが、ISEGのJOAO教授などの案内でロカ岬、シントラ王宮などを見ることができた。最大の収穫の一つはPedoro5世通りに面したポルトガル・アマチュア無線連盟 (REF) 本部の写真をとれたことだった。ポルトガル電波管理局にポルトガル・アマチュア無線局免許を申請すべく情報収集していたのだが学会での口頭発表準備とフルペーパー執筆で忙殺され、残念ながら申請に至らなかった。機会があれば、ポルトガルからHF / QRP/ bpsk31局を運用してみたいものである。

OH旅行記

JA3IVU 北井 十生

2014年7月7日から16日まで「フィンランド」へ行ってきました。

参加者は私たち家族5人(妻、次女、孫3歳半と1歳半の男2人)で関空から10時40分発のフィンランド航空の直行便でヘルシンキへ。機内では、この1歳半がぐずり 静かに寝させるために疲れてしまった。1時間ほどすると静かに眠っていた。15時にはヘルシンキに到着したがまだまだ太陽は真上にあった。

長女たちが迎え来てくれて、ヘルシンキ バンター空港から車で30分ほどかかかって家に着いた。ヘルシンキ郊外の静かな木々の中に家はあった。付近は3階建ての建物とその周りには1戸建ての住宅があり また、その周りは白樺の森と緑の草原と静かな街だ。

困ったことに夜の10時になっても燦々と太陽が、いつ暗くなるのか聞くと「真っ暗」にはならず「薄暗く」なるだけのこと。これでは眠れない。

OHの運用許可は事前に「FCRA」に英文証明(局免、従免)、パスポートの写し、運用許可申請書(FCRAからダウンロード)を送付すると約2週間ほどでOH/ JA3IVUと申請料(18?)払込書が送られてきた。払込はヘルシンキに到着してから指定された口座を振り込むと許可が有効になる。注意はOH0へ行ったならOH0/ JA3IVUとすることとあった。

1kgはIC7000M, FT817 アンテナはデルタループとWHIPを釣竿ケースに入れて持ち込んだ。ところが長女宅は3階建ての2階で庭もなく、デルタループが張れないので窓からWHIPを出した。Eu内のSSB, CWが聞こえるが呼んでも応答なし。PSKやJT65に切り替えたならJAも入感した。やはり このアンテナでは飛んで行かない。

無線ばかりしてられないので孫たちと犬(柴犬)をつれて散歩へ、緑が一杯でまるで軽井沢にいるようでした。時差ボケで寝ようとするが明るくてなかなか寝つけない。

次の日は電車に乗って市内へ、この電車の駅 改札口がない 2つめの駅がヘルシンキ中央駅でここから市電のトラム乗って、岩の教会で知られる「テンペリアウキオ教会」へ 観光客で一杯 昼になったので映画「かもめ食堂」の舞台となった「カハヴィラスオミ」へこのオーナーはこの映画にも出演している。

市内の道は石畳みで車輪の小さい日本のベビーカーは押しにくい。こちらのは車輪が大きい。これがどこに行っても困った。

次の日は隣の国「エストニア」の首都 タリンへ ヘルシンキからフェリーで2時間。国際フェリーだが特に出入国はなく、すんなり乗船できた。船内は一つの町のように免税店がたくさんあった。

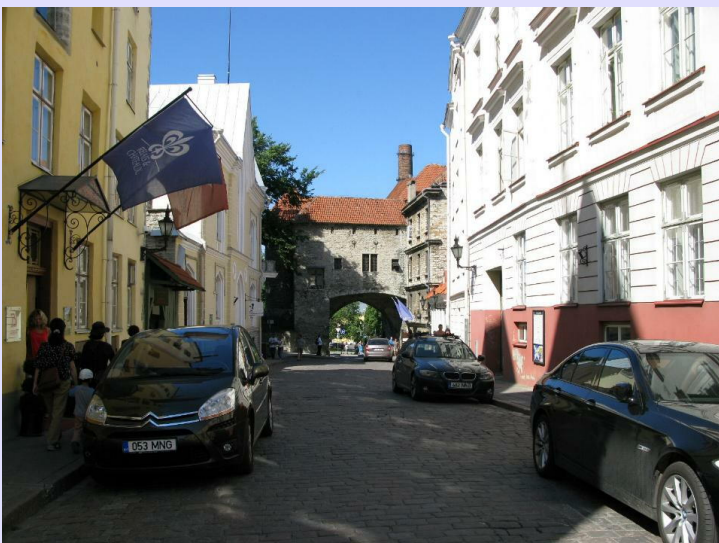
タリンの港から徒歩約20分で旧市街地に着く。ここもまた、石畳みの道で日本のベビーカーは押しにくい。タリンには9年前にバルト三国のツアーで来たことがある。その当時と比べると通貨がユーロになり 観光客が多かった。

帰りはタリン19時半発に乗船したがやはりまたまだ陽は高い。船内ではほとんど人が同じコロコロを引き、上にはビール缶が、免税で安い。私たちが24缶入りを買った。

次の日、子どもたちは市内へ出かけた。私たちは家でゆっくりすることにした。



「ヘルシンキの家の近くで」



エストニア 「タリン」旧市街

いよいよ長女の夫の両親がお住まいのヘルシンキの北、車で5時間ほどかかる「クオピオ」へ途中で運転を交代したが何しろ「右側通行」は初めて、不安な気持ちがあったがなんとか走ることができた。

(直前に門真の試験場へ行き 国際運転免許証の取得した)

途中の道路の両側は森と湖ばかりでよく似た景色がつづく。休憩を2回取って、「クオピオ」の市内に入る。お宅は市内中心部の湖の近くの建物の3階だった。きれいな部屋で サウナもあった。

ご両親は「コテージ」呼ばれる別荘に5月中旬から9月中旬までお住まいとのこと。

まず、市内観光と言っても徒歩で見られる。湖には観光船、遊覧飛行用の水上用セスナなど。午後、市内から車に乗って30分ほどで「コテージ」へ ご両親が迎えに来てくれた。

湖のほとりに建つ2棟の建物や釣りボートの艇庫などあった。もちろんサウナもある。ボートで湖へ子どもたち庭を走り廻っている。湖で釣ったという白身の魚、畑の野菜などの料理をみんなでいただいた。ほんとうはここでアンテナを張り無線やりたいところだった。ここではどのようなアンテナでも張れる。お父様の兄さんのお家が近くにあるというので訪ずれた。大きなお家に広い敷地(どこまでだと聞くと見える範囲ですって)。

また、市内に戻り先ほどの水上飛行機で市内遊覧飛行へ。セスナは何回も乗ったが水上は初めてであったが離着陸ともショックはスムーズだった。上空から見るクオピオは文字どおり「森と湖」の街だった。丘の上に大きなジャンプ台があった。ワールドカップも開催され岡部選手や葛西選手など滑っていたとのこと。この日は、ノーマルとラージのコースに水を撒き、選手が練習をしていた。飛び出し速度が90km/hも出ておりK点越えもあり第一線級の選手の練習のようだった。

とてもあんな高いところには立てないし、怖くて滑れない。

クオピオを夕方5時に出て、ヘルシンキに着いたころは10時を回っていたがまだ明るい。

また、犬と散歩に出かけた。



クオピオの「コテージ」で

この旅での感想

- ・夏季休暇が3週間から4週間ある。
 - ・16時ころには帰宅し、残業はない。
 - ・ごく普通の市民が「コテージ」やボートなどを持っている。
 - ・市内中心部から30分も走れば家はぼつぼつ(人口は500万人ほどで大阪府より少ない。ヘルシンキは50万人ほど)
 - ・いわゆる消費税は日本より高い、ただし生活必需品は低く設定されている。
 - ・レギュラーガソリンは1.7ユーロぐらい(200円くらい?)
- まあこれが北欧型の高福祉高負担というものでしょうか。

上空からの
「クオピオ」市内と「ジャンプ台」

帰りの機内では元気な1歳半が通路を走り廻り、みなさんを和ませていました。今回は、家族で行きましたので非常に疲れしました。



IOTA contest

毎年参加しているIOTA contest ですが、今年 (7/ 26- 27)は残念ながら参加できませんでした。先日、"JA3AOP"でWebを検索すると、2013 IOTA contest の賞状が見つかりました。2013は RSGB の創立100周年に当たり IOTAコンテスト参加者に発行されたものでしょう A4サイズのPDFで発行されています。 JA3AOP / 杉山 暁

